

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-6  
生活支援の確保

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

地域福祉課長 三谷 耕司

電話番号

0852-22-5349

事務事業の名称	行旅病人等への支援事業	
目的	(1) 対象	行旅病人等
	(2) 意図	必要な救護等が受けられるようにする。
事業概要	市町村において、行旅病人等に対して必要な援護を行ってもらうため、その取扱費用を弁償する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	行旅病人等の救護率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	費用負担した人数/対象者数	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	696	328
うち一般財源 (千円)	696	328

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・平成29年度における行旅病人等への援護実績は0件、行旅死亡人に対する取扱の費用弁償の申請は6件あった。
- ・なお、申請6件のうち1件は、費用弁償後に身元が判明したことから全額返還されたため、支給実績としては5件となった。

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

- ・平成29年度における、行旅死亡人に対する取扱の費用弁償は6件の申請あり、申請受理後速やかに審査の上費用弁償を行った。
- ・また、身元判明による返還手続き1件についても、すみやかに行った。

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- ・特になし

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・特になし

### ③原因を解消するための「課題」

- ・特になし

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・今後も、申請を受理後は速やかに費用弁償を行う。